めっかりもうさん!

(年3回発行)

普及活動 この1年

本年度は、コロナ禍のなか研修会等は例年どおり実施できない状況でしたが、種子島の現状を踏まえた2つの課題を工夫しながら普及活動を展開してきました。その一部を紹介します。

1 種子島地域の農業を支える担い手の確保

新規就農者の定着に向けた現地検討会,青年農業者や女性農業者の資質向上や6次産業化推進に向けた研修会,経営改善のための研修や個別相談等を実施し,種子島地域の農業を支える担い手の確保・育成に取り組みました。



新規就農者巡回 (南種子町)



青年農業士総合講座



女性農業者研修会



加工技術等出前相談会



農業経営発展研修会



専門家による経営相談

2 競争力ある種子島農業リノベーション(革新)

〇 さとうきび生産の取組

さとうきびでは生産農家の高齢化により栽培面積が減少する中, 生産量の拡大を図る ため、有望品種の実証や省力化・低コスト化に向けた取組を支援しました。



多収性新品種「はるのおうぎ」



採苗・植付作業の省力化が期待されるビレットプランタ実演会



イネヨトウ交信かく乱剤実証

〇 活力ある花き産地の育成

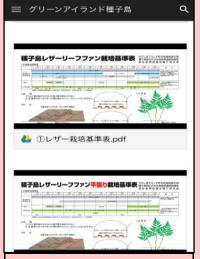
レザーリーフファンやフエニックスロベレニーの高品 質・安定生産と新品目・新技術の導入支援に取り組みまし た。



有望品目の検討



新規就農者巡回支援



スマホ情報共有システム の構築

〇 果樹の新技術・新品種の導入

種子島の果樹は気象に左右されやすいことから、マンゴーは着花・着果等の生産安定 対策、カンキツ類はポンカンにかわる中晩柑有望品種の検討、トロイヤーシトレンジ台 木のタンカン導入、パッションフルーツは施設栽培の生産拡大を支援しました。



中晩柑類の果実分析



パッションフルーツの植付指導



ドローン防除の農薬付着量調査

〇 肉用牛・酪農生産基盤の維持

肉用牛及び酪農生産基盤の維持のため飼養管理改善や規模拡大志向農家の規模拡大支 援、自給粗飼料確保のための対策を実施しました。



新規就農者への技術支援



新規就農者巡回指導



冬作優良品種の実証展示ほ

〇 茶の生産安定技術の確立

一番茶の収量と品質に大きく影響する7~8月の摘採時期を重点的に検討しました。ま た、高品質な茶づくりと生産コスト削減、国の補助事業活用などにも取り組みました。



最終摘採時期の検討試験



出品茶園づくりの状況



茶農家への経営継続補助金説明会

〇 スマート農業の取組

スマート農業を推進するため、関係機関・団体と連携してスマート農業機械・機器の 実演・実証に取り組みました。本年度はタンカン、さつまいも、ばれいしょほ場でド ローンによる農薬散布を実証しており、結果を情報提供しました。



農薬散布用ドローン



タンカン園での利用実証



さつまいも圃場での利用実証

○種子島安納いものブランド化に向けた生産工程の改善

種子島安納いもの生産・販売体制の検討や種子島安納いも産地ビジョンに基づきGI登録にむけた取組を行いました。また、基腐病については、関係機関・団体とプロジェクトチームを設立し、安定生産が図れるよう対策に取り組んでいきます。



種子島安納いものG I 登録に向けた現地調査



K-GAP現地調査 (カウンセリング)



安納いも品評会の審査の様子



さつまいも基腐病研修会

〇 重点野菜の技術力向上支援

重点品目のスナップえんどう,ばれいしょの生産安定対策技術・普及を図り,ブロッコリーのモデル経営体を育成するため,実証活動,検討会等を開催しました。



豆類技術検討会



ばれいしょ講習会でそうか病対策を指導



ブロッコリー植付講習会で春どり作型を紹介



スナップえんどう現地検討会で肥料改善試験を紹介